

タイトル

サブタイトル

名前

2025/3/7

所属

最初のスライド

スライドタイトルは,

```
1 == 最初のスライド
```

のように記述することで, 設定することができます.

スライドの中身は

```
1 #slide[  
2     スライドの中身  
3 ]
```

のように記述します.

数式

数式も、普通の文章と同様に

```
1 $ integral sin x d x = - cos x + C $
```

$$\int \sin x dx = -\cos x + C$$

と表示されます。より強調するには、`box` 関数を利用して、

```
1 $ y = #box(fill: rgb(100, 200, 200), outset:(x: 3pt, y: 5pt), radius: 4pt)[$a x^2$] + b x + c $
```

とすれば、

$$y = ax^2 + bx + c$$

のようになります。

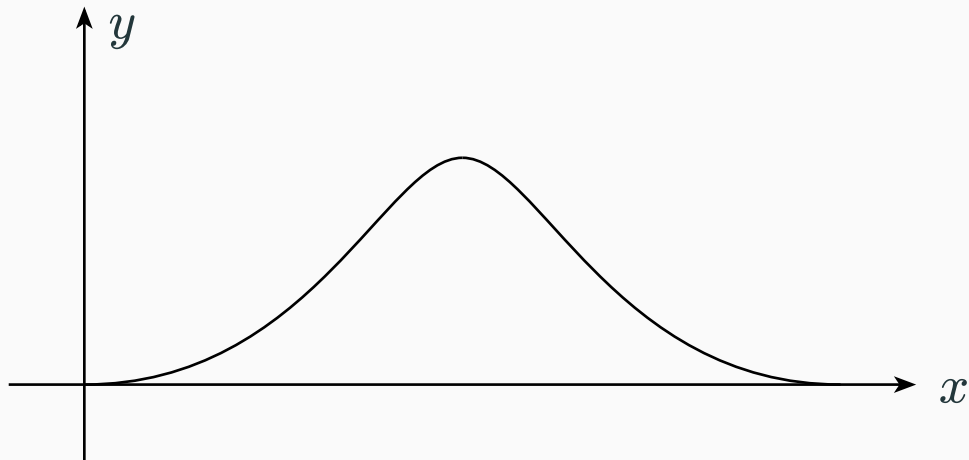
CeTZ による図の挿入

図を挿入するには, CeTZ を利用します. 例えば,

```
1  #cetz.canvas({  
2      import cetz.draw: *  
3      line((-1,0),(11,0), mark: (end: "stealth"), fill: black)  
4      line((0,-1),(0,5), mark: (end: "stealth"), fill: black)  
5      bezier((0,0), (5,3), (3,0), (4,3))  
6      bezier((5,3), (10,0), (6,3), (7,0))  
7      content((11.5,0), $x$)  
8      content((0.5,4.75), $y$)  
9  })
```

のように記述すれば, 次のスライドのように表示されます.

CeTZ による図の挿入

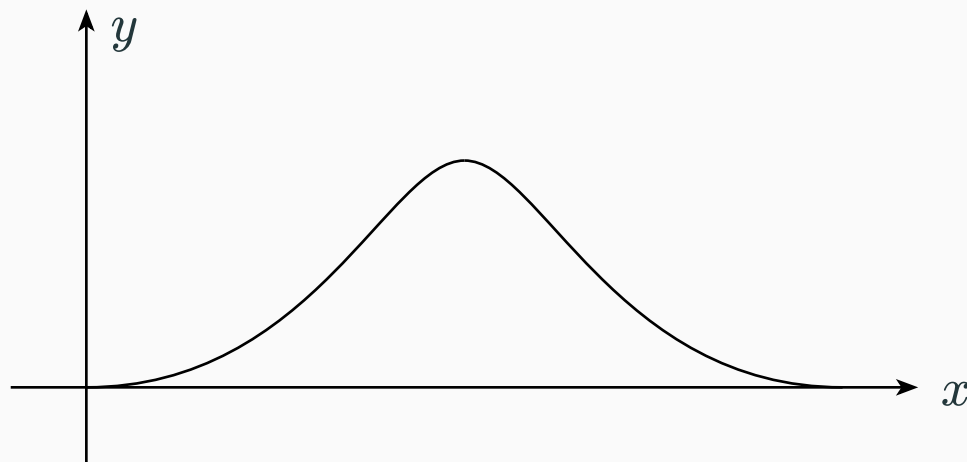


表示を中央揃えにするには, `align` 関数を利用します.

```
1  #align(center)[  
2      〈CeTZの中身〉  
3  ]
```

これによって, 次のスライドのように中央揃えになります.

CeTZ による図の挿入



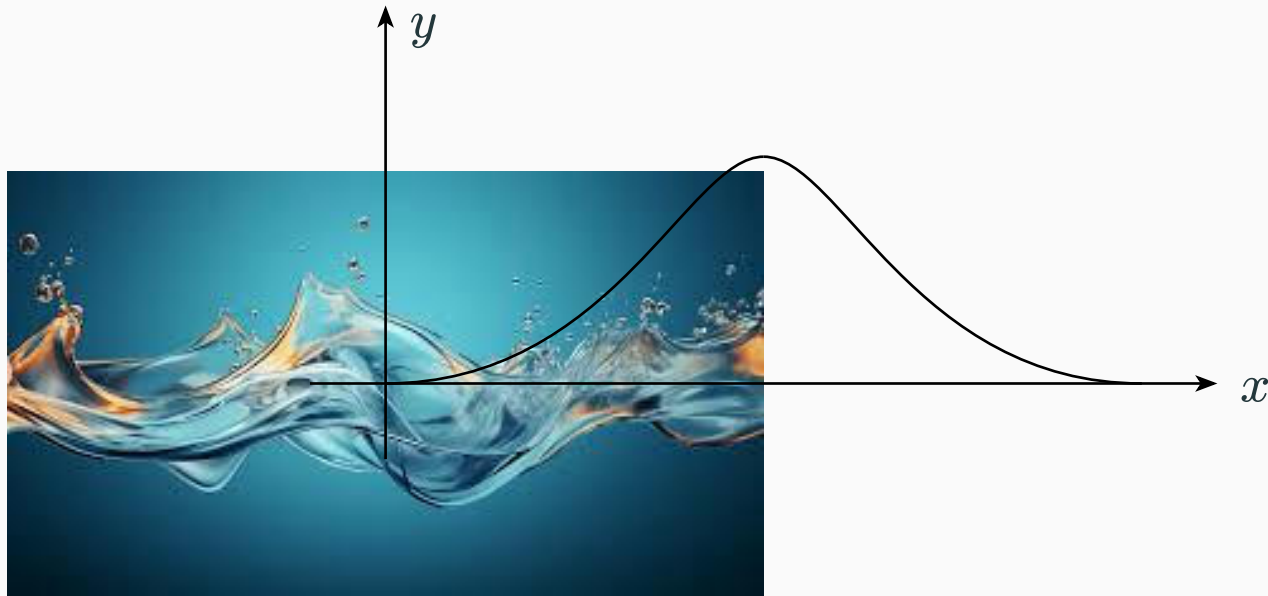
図中に画像を挿入するには, `content` を利用して, `image` 関数を挿入します.

```
1 content((0,0), image("figure/water.jpg", width: 10cm))
```

このとき, `width` に `%` を指定することはできません.

CeTZ による図の挿入

このようにすることで、以下のように表示できます.



表示の分割

単純に 2 分割以上をするには, `columns` 関数を利用します.

```
1 #columns(2)[  
2     1行目のテキスト  
3     #colbreak()  
4     2行目のテキスト  
5 ]
```

これによって, 次のように記述されます.

1 行目のテキスト

2 行目のテキスト

`columns` は領域を半分ずつ分割します.

表示の分割

左右非対称の場合，例えば 70%，30%の割合にしたい場合， `grid` 関数が利用できます.

```
1 #grid(  
2     columns: (70%, 30%),  
3     [1行目のテキスト],  
4     [2行目のテキスト]  
5 )
```

1 行目のテキスト

2 行目のテキスト

Appendix と参考文献の書き方

1 `#show: appendix`

をスライド間に記述すれば、スライド番号のカウントがそこまですなります。
参考文献は、`@tsukahara2023` とすれば、`("塚原", "2023", 0, 1)` 1 のように表示
され、参考文献が表示されます。

塚原隆裕, 私の「ながれを学ぶ」使命感, [ながれ：日本流体力学会誌](#) (2023), Vol. 42,
No. 3, p. 222.